

第十九條

管理人墓地、繪圖及墓籍ヲ調製シ置クヘシ
左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十日未滿ノ勾留又

八貳拾円未滿ノ料料ニ處入

一、本則第二條第四條第三項第六條第八條第十條

第七條第十四條第十八條ニ違背シタル者

二、墓地及埋葬取締規則第三條第四條第五條第六

條第七條ニ違背シタル者

三、墓地外ニ死体又人遺骨ヲ埋葬シタル者

丙

施行

十一月十七日

案起 昭和十二年十一月十三日

警備局長 一四〇號

主任

警務課長

事務官

日月付受及號局管主									
送	受	局	議	合	第	號	送	案	主
第	號	第	第	第	號	送	月	年	任
號	受	號	號	號	號	受	日	月	長
送	月	送	送	送	送	月	日	日	名
月	日	月	月	月	月	日	日	日	局長
月	日	月	月	月	月	日	日	日	各廳府縣長官宛

署	送	受	局	議	合	第	號	送	案
送	月	日	月	月	月	第	號	送	年
號	送	月	月	月	月	第	號	受	月
月	日	月	日	月	日	號	送	月	日
月	日	月	日	月	日	第	號	送	日
月	日	月	日	月	日	第	號	受	日
月	日	月	日	月	日	第	號	送	日
月	日	月	日	月	日	第	號	受	日
月	日	月	日	月	日	第	號	送	日
月	日	月	日	月	日	第	號	受	日

興行取締ニ關スル件

近時ニ於ケル演劇、レビュ、漫才、落語、紙芝居等興行ノ内容ヲ見ルニ、其ノ間往々

號受月日
號送月日

民衆、嗜好ニ迎合セントスルノ余リ、娛樂、本質ヲ没却シテ低調卑俗ニ陥リ、廢穎悖倫ニ涉ルモノ無キニ非バ、又支那事變發生後ハ之ニ取材セルモノ著シキ數ニ達セル所ナルガ、其ノ内容ヲ見

ルニ概ね粗雜ニレテ動モスレバ安價ナル感激ヲ唆リ徒ニ對支感情ヲ激發シテ禍根ヲ將來ニ貽入ガ如キモノ、或ハ戰爭反對戰爭嫌惡ノ念ヲ起サシムルガ如キモノ、或ハ事變ニ對スル國民ノ嚴肅ナル感情ヲ傷クルガ如キモノ無シトセズ、是等ノ事項ニ關シテハ

夙ニ嚴重取締ヲ行ヒツツアル様讃認ル

處ナルモ現下、如ク舉國振張、國民ノ精

神的總動員ヲ行ヒ堅忍不拔、重大ナル時

局ニ對處シ且今後持續スベキ時艱ヲ克

服シテ愈々皇運ヲ扶翼スルノ要最モ

緊切ナルモノアル時代、要求ニ鑑ミルトキ

ハ今後益々之ヲ勵行スルノ要顯著ナル

モノアルヲ以テ、爾今興行者並ニ從業員
ヲシテ積極的に興行ヲ通ジ時艱克服
、爲協力セシムル様懇談督勵シ特ニ尤
記各號、事項ヲ勵行セシムルコトトシ且
之ガ脚本檢閱興行取締、際ハ其ノ主
旨、徹底ニ努ムル様適宜措置相成度

此段及通牒候也

内務省

記

一、國體ノ本義ヲ彌々明徴ニシ日本精神ノ眞姿ヲ顯現スルニ努ムルコト

二、利己ニ赴キ物質ニ奔リ個人ノ自由ニ拘泥シテ國家並ニ公共ノ利害休戚ヲ漠却シテ顧ミザルガ如キ弊風ヲ芟除スルニ努ムルコト

三、浮華ニ流レ享樂ニ耽リ淫逸ニ墮スルガ如キ風習ヲ國シ以テ剛健

ナル國民道義ノ確立ニ努ムルコト

四、社會ノ耳目ヲ^{従事者}動シタル犯罪事件ニ取材スルトキハ民衆ノ好奇心ヲ唆リ之ニ同情シ之ヲ模倣スルガ如キ結果ヲ招キ易キヲ以テ之ヲ差控フルコト

五、我國經濟狀勢ノ現狀シ勤勞ノ尊重、勞資ノ協調、冗費ノ節約、國

規格 B. 5.

内務省

外國人等の眞正性を曉るにあらず、其の貿易、消費、通商、其の財政、通商、國

でより、其の外に於く。

前項に於ける事は、軍事的、政治的、經濟的、社會的、文化的、思想的、精神的、風

習、運動、軍事的、經濟的、社會的、文化的、思想的、精神的、風

習、運動、軍事的、經濟的、社會的、文化的、思想的、精神的、風

習、運動、軍事的、經濟的、社會的、文化的、思想的、精神的、風

習、運動、軍事的、經濟的、社會的、文化的、思想的、精神的、風

品

内資源ノ愛護等ノ必要ヲ適切ニ闡明スルコト

六、支那事變ノ根本的原因、帝國ノ方針ヲ明確適切ニ闡明スルコト
七、支那ノ國民性、民族性、國民政府、國民黨及軍隊ノ本質等ニ付

明確ナル認識ヲ與フル様努ムルコト

八、銃後ノ後援ヲ益々強化スルトトモニ、長期ニ涉リ之ヲ持續スル
ノ要ヲ強調スルコト

九、構想ハ真摯ヲ旨トスベク觀客ヲシテ徒ニ一時的興奮ニ驅ラレ安
價ナル感傷ニ墮セシメ或ハ戰地銃後ニ於ケル活動ヲ茶化シテ國
民ノ事變ニ對スル嚴肅ナル感情ヲ傷タル方如キコトナキ様留意

スルコト

大豫メ考證ヲ精密ニシ筋ノ運ビニ矛盾齟齬ナキヲ期スルトトモニ

ト敵人奸細ヲ暗殺せし事ハ即ち一も即時捕獲シテ敗北シナリヨ

ハ小口イ

江ノ行勢ニ既ニ小軍敵大軍敵前又關々ハ即時ニ止ハシテ敵前意
賈セ小懶酒ニ飲ムアシハ既ハ所取強盜ニ致ハセシモ既ハ未明ニテ因
此轄地ハ即早ハ有レバシモ無音セセテ我ニ一軍即時出撃セラハ

ハ要モ無事ハ小口イ

ハ強氣ハ必対セ密ニ越事ハ小口イハ既ニ逃亡シテ被説ハ既
也解セ小懶酒ニ飲セ小口イ

ハ支那ハ國以指ハ九夷也、國以制也、國以無外事也、不費羣生也
ハ支那其變ハ非本國原因、第國ハ民性又與鄰國ニ隔也ハ小口イ
内資糧ハ幾處等ハ心疑セ極也ニ關也ハ小口イ

我ガ將兵ノ階級、服制、禮式、演練、兵器、兵科、任務等ニツ
キケモ特ニ正確ヲ期シ皇軍並ニ其ノ行動等ニ對スル理解ヲ深ム
ル様留意スルコト

ハ皇軍ハ武士道精神ノ眞髓ヲ把握セルモノナルコトヲ明ニスルト
共ニ其ノ行動ハ常ニ正義ニ基クモノナルコトヲ強調シ苟モ事ヲ
構ヘ戦ヲ好ムガ如キ印象ヲ懷カシメザル様留意スルコト
去銃後又ハ戰場美談等ヲ題材トスルモノニシテ陰謀、慘酷ニ過ギ
却テ戰爭ヲ恐怖嫌惡スルノ念ヲ惹起セシメ或ハ兵役義務心ヲ消
磨セシムルガ如キコトナキ様留意スルコト
ハ皇軍ノ名譽威信ヲ損シ又ハ軍紀ノ嚴正ヲ疑ハシムルガ如キコト
ナキ様留意スルコト

大手通留意スルコト

本題事ハ警署巡査ビ頭メ又ハ軍隊ハ郵便又ハ車輛ハ郵便又ハ車輛ヘシテ眼牛に付
離セシムハ眼牛に付セテ郵便留意スルコト

取て姉弟又ハ姉妹夫婦等又師妹オヌハ皆ニコソモテ懇親・密語ニ體シ
其ノ聲又ハ姉妹夫婦等又師妹オヌハ皆ニコソモテ懇親・密語ニ體シ
鞆ノ聲ニ快ハ思候半明渠又獨りシテ知れ御留意ハ承口ナ
其ノ聲ニ快ハ思候半明渠又獨りシテ知れ御留意ハ承口ナ
其ノ聲ニ快ハ思候半明渠又獨りシテ知れ御留意ハ承口ナ
其ノ聲ニ快ハ思候半明渠又獨りシテ知れ御留意ハ承口ナ

古人類ノ平和、生命ノ尊重、肉親愛等ヲ漫然強調スルノ余リ現實
ヲ蔑視スルガ如キ結果ニ陥リ爲ニ犠牲奉公ノ民族的精神ヲ萎靡
滅退セシムルガ如キトナキ様留意スルコト
去軍事上ノ機密ヲ漏洩シ其他軍事、外交上重大ナル支障ヲ來ス
ガ如キコトナキ様留意スルコト
夫脚本ノ作成、興行等ニ當リテハ豫メ關係當局ノ意見ヲ徵シ能フ
限り正確ヲ期スル様努力ムルコト
去興行時間ヲ能フ限り短縮シ且夜間ノ終了時間ヲ成ル可ク早カラ
シムル様努力ムルコト

内務省勅裁令八〇二四

内務省勅裁令八〇二五
内務省勅裁令八〇二六

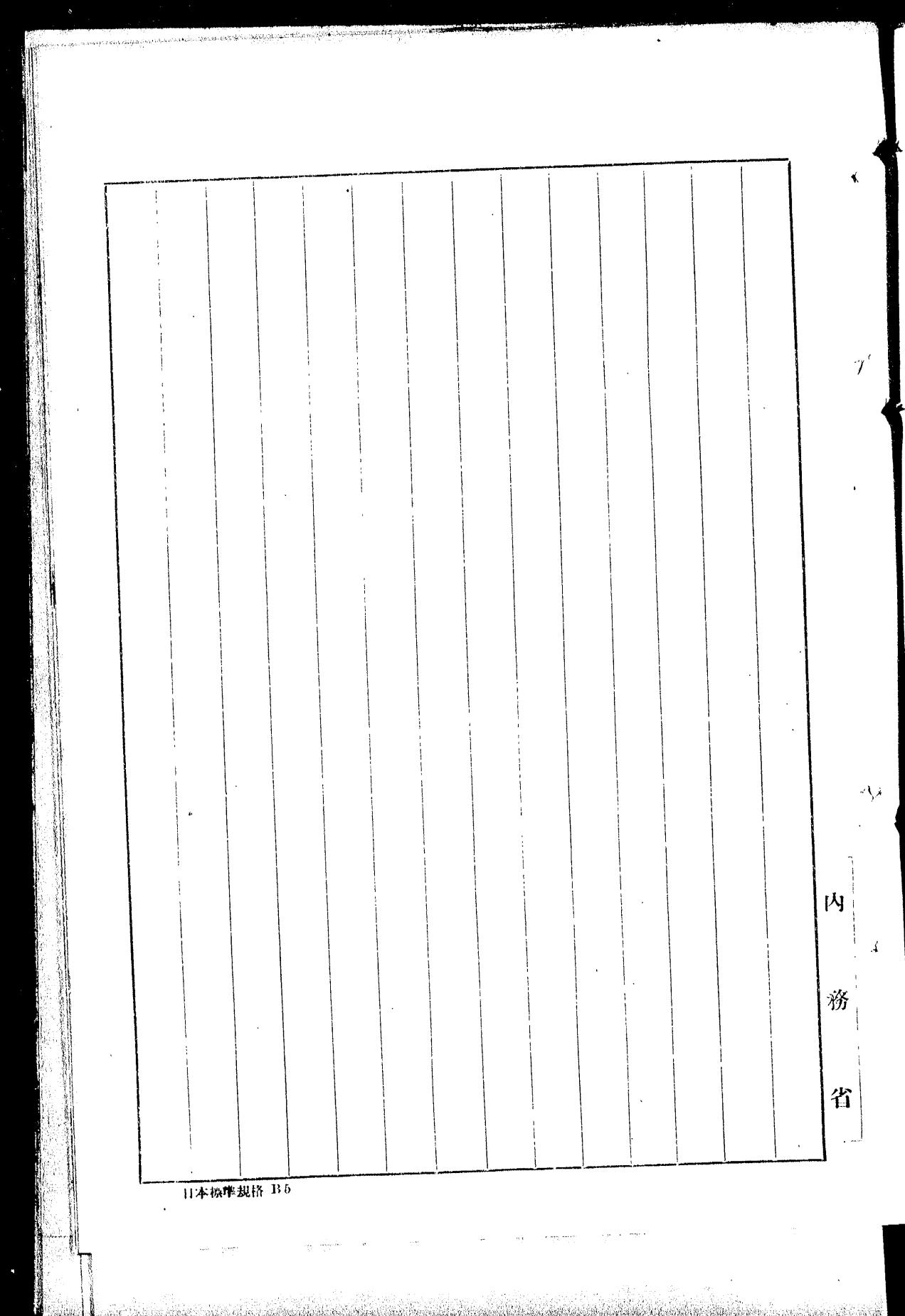
内務省勅裁令八〇二七

内務省勅裁令八〇二八

内務省勅裁令八〇二九

内務省勅裁令八〇三〇

内務省



書類回数發用第一回。

昭和十二年十一月十七日

文務省警察局調査課

父體付繫取回數

開行取締=開スル件

近時、於ケル演劇、ビューア、禮事、遊説、詐謀等、
行、又密ヲ見ルニ、其、間往々凡衆、
シテタルノ餘リ、娛樂ノ本質ヲ沒却シテ、
「詔書」

陷リ廢頹傍倫ニ歩ルモノ無キニ非ズ、又支那事變發生後ハ之ニ取材セルモノ著シキ數ニ達セル所ナルガ、其ノ内容ヲ見ルニ概々粗雜ニシテ動モスレバ安價ナル感激ヲ唆リ徒ラニ對支感情ヲ激發シテ禍根ヲ將來ニ貽スが如キモノ、或ハ戰爭反對戰爭嫌惡、念ヲ起サシムルガ如キモノ、或ハ專變ニ對スル國民ノ嚴肅ナル感情ヲ傷クルガ如キモノ無シトセズ、是寧ノ事項ニ關シテハ夙ニ嚴重取扱フ行ヒツヅル

様認メラル處ナルモノ、現下ノ如ク舉國振張國民、精神的總動員ヲ行ヒ堅忍不拔、重大ナル時局ニ對シ且今後持續スバキ時艱ヲ克服シテ愈々幸運ヲ扶翼スルノ要最ニ緊切ナルモノアル時代、斯半ニ鑑ミルトキハ今後益々之ヲ勵行スルノ要顯著ナルモノアルヲ以テ爾今興行者並ニ從業貳ヲシテ積極的ニ興行ヲ通ジ時艱克服、爲協力セシムル様貌の談奮勵シ特ニ主記名號、事項ヲ勵行セシムルコトナシ

且之が脚本稿閱覧行取締、遂ハ其ノ左面、被削

努ムル様適宣措置相成度此般及通牒候也

記

一團體ノ本義ヲ顕々明徹ニシ日本精神ノ眞委ヲ顯現スルニ努ムル

コト

ニ利己ニ赴キ物質ニ奔リ個人ノ自由ニ拘泥シテ國家並ニ公共少利害休戚ヲ漠却シテ廣ミザルガ如キ弊風ヲ芟除スルガ如キ風習ヲ固シ以テ開拓ナル國民道義ノ確立ニ努ムルコト

四社會ノ耳目ヲ聳動シタル犯罪事件ニ取材スルトキハ民衆ノ奸計心ヲ唆リ之ニ同情シ之ヲ模倣スルガ如キ結果ヲ招キ易キヲ以テ之ヲ差控フルコト

五我國經濟狀勢ノ現狀ニ即シ勤労ノ尊重、勞資ノ協調、冗費ノ節

約、國內資源ノ愛護等ノ必要ヲ眞切ニ闡明久ルコト

六 支那事變ノ根本的原因、帝國ノ方針ヲ明確適切ニ闡明スルコト

七 支那ノ國民性、民族性、國民政府、國民黨及軍隊ノ本質等ニ付

明確ナル認識ヲ與フル様努ムルコト

八 続後ノ後援ヲ益々強化スルトトモニ、長期ニ涉リ之ヲ持続スル

ノ要ヲ強調スルコト

九 横想ハ眞摯タ旨トスペク觀客フシテ徒ニ一時的興奮ニ歸ラレ安

價ナル感傷ニ墮セシメ或ハ戰地続後ニ於ケル活動ヲ茶化シテ國

民ノ裏變ニ對スル嚴肅ナル感情ヲ傷クルガ如キコトナキ機智莫

スルコト

十豫メ考證ヲ精密ニシ筋ノ運ビニ矛盾無語ナキヲ期スルトトモニ、

我ガ將兵ノ階級、服制、禮式、演練、兵器、兵科、任務等ニツ
キテモ特ニ正確ヲ期シ皇軍並ニ其ノ行動等ニ對スル理解ヲ深ム
ル様留意スルコト

十一皇軍ハ武士道精神ノ眞誠ヲ把握セルモノナルコトヲ明ニスルト
共ニ其ノ行動ハ常ニ正義ニ基クモノナルコトヲ強調シ苟モ寡フ
權ヘ戰フ好ムガ如キ印象ヲ懷カシメザル様留意スルコト

十二続後又ハ戰場美談等ヲ題材トスルモノニシテ陰惨、慘酷ニ過ギ
却テ戰爭ヲ恐怖嫌惡スルノ念ヲ惹起セシメ或ハ兵役嫌惡心ヲ消
磨セシムルガ如キコトナキ様留意スルコト

十三皇軍ノ名譽威信ヲ損シ又ハ軍紀ノ嚴正ヲ疑ハシムルガ如キコト
ナキ様留意スルコト

古人類ノ平和、生命ノ尊重、肉親愛等ヲ漠然強調スルノ余リ現實

ヲ蔑視スルガ如キ結果ニ陷リ爲ニ犠牲奉公ノ民族的精神ヲ萎靡滅退セシムルガ如キコトナキ様留意スルコト

主軍事上ノ機密ヲ漏洩シ其ノ他軍事、外交上重大ナル支障ヲ來スガ如キコトナキ様留意スルコト

本脚本ノ作成、興行等ニ當リテハ豫メ關係當局ノ意見ヲ衡シ能フ限り正確ヲ期スル様努ムルコト

其興行時間ヲ能フ限り短縮シ且夜間ノ終了時間ヲ成ル可ク早カラシムル様努ムルコト

69

起案昭和十二年十一月十三日

決判月日文書課長

施行十二月七日

第

主

查

警務課

事務官

大蔵省
警保局
次官

文書課長

審査委員

政務次官

參與官

活動寫真ノ興行時間及ファイルム
長サノ制限ニ關スル件